

道徳科学習指導案

平成●年●月●日

●年●組(男子●名 女子●名 計●名)

指導者 板橋区立赤塚第二中学校

主任教諭 森田 直実

1 主題名

「スマホの使い過ぎについて考えよう」

2 ねらい

スマホの使い方について考え、よりよい生活へと結びつける

3 教材名

スマホの過度な使用による日常生活への支障（総務省 インターネットトラブル事例集①）

4 主題設定の理由

スマホやインターネットは便利で子供たちの生活にとっても欠かせないものとなってきている。しかし、使い過ぎは生活リズムを崩し、体や心の成長や人間関係にも悪影響を及ぼす。どのような使い方が適正であるのかを考え、自分の生活へ生かしていく。

5 本時の展開

	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none">●本時のテーマについて確認を行う◇「みなさんはスマホを使っていますか。」◆「使っている」「持っていない」◇「スマホを持っている人は上手に使えていると思いますか」◆「使えている」「どうだろう」	<ul style="list-style-type: none">●テーマについて確認し、スマホを持っていない生徒も、今後持ったときによりよい使い方ができるように意識をもたせる。
展開	<ul style="list-style-type: none">●資料を提示し、対策を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"><p>照久くんはテストの点数が良かったので、ご褒美に最近スマホを買ってもらった。照久くんは「これがいづらが言っていたゲームか」とクラスで話題になっているゲームをダウンロードした。また、クラスのグループに入りたくてコミュニケーションアプリもダウンロードした。「スマホはゲームもタダでできるし、無料で電話もできる。すごいなあ。」それから毎日、照久くんはスマホをいじっていた。休日、外出するときは必ず手にもって連絡を待っているし、信号で止まればゲームの続きをやりはじめるようになっていた。当然勉強は手につかず、期末テストは点数が5教科で200点近く下がってしまった。</p></div>	

	<p>◆照久くんはスマホを上手に使えるか</p> <p>◇「使えていない！」</p> <p>◆照久くんがスマホを上手に使えていない原因は何か班で話し合い、問題解決に結びつけましょう。</p> <p>◇「私たちの班は照久くんがスマホで遊ぶ時間などの時間で区切っていないことを問題と考えました。その解決策は…」</p>	<p>●照久くんはスマホを上手に使えていないということを生徒に押さえさせる。</p> <p>●協働学習を行ううえで、自分だったらどうするかということも考えながら話し合いを進めていく。</p> <p>●班で問題点を一つ挙げて、その解決策を考えさせる。</p>
まとめ	<p>●インターネットトラブル事例集を読み、様々なアドバイスがあることを理解する。</p> <p>●各班から出たアドバイスを自分自身のスマホの使い方にもあてはめて考え、よりよい使い方ができるようにする</p>	<p>●この授業のまとめは、自分自身のスマホの使い方やよりよい使い方について考えさせることなので、まとめを確実に行う。</p>

6 評価の観点

- ・スマホを使う上で、注意すればよいことを理解し、自分の生活に生かそうとしている。

7 板書計画

<p>☆照久くんの生活と自分の生活を比べて、考えたことを記入しよう。</p>	<p>ホワイトボード</p> <p>ホワイトボード</p> <p>ホワイトボード</p>	<p>ホワイトボード</p> <p>ホワイトボード</p> <p>ホワイトボード</p>	<p>ホワイトボード</p> <p>ホワイトボード</p> <p>ホワイトボード</p>	<p>☆照久くんのスマホ使用中の問題点と解決策を考えよう。</p> <p>スマホとのよりよい付き合い方を考えよう</p>
--	--	--	--	--

1	スマートフォンの使い方について考えよう	年 組 番 氏名
---	---------------------	-------------

1 次の資料を読み、問題点と解決策を考えよう。

照久くんはテストの点数が良かったので、ご褒美に最近スマホを買ってもらった。照久くんは「これがあいつらが言っていたゲームか」とクラスで話題になっているゲームをダウンロードした。また、クラスのグループに入りたくてコミュニケーションアプリもダウンロードした。「スマホはゲームもタダでできるし、無料で電話もできる。すごいなあ。」それから毎日、照久くんはスマホをいじっていた。休日、外出するときは必ず手にもって連絡を待っているし、信号で止まればゲームの続きをやりはじめるようになっていた。当然勉強は手につかず、期末テストは点数が5教科で200点近く下がってしまった。

問題点
解決策

2 自分のスマホの使い方と照久くんのスマホの使い方を比べて、考えたことを書こう。
共通点や相違点はどこだろうか。

3 今日の授業を受けての感想

1	スマートフォンの使い方について考えよう	年 組 番 氏名
---	---------------------	-------------

1 次の資料を読み、問題点と解決策を考えよう。

照久くんはテストの点数が良かったので、ご褒美に最近スマホを買ってもらった。照久くんは「これがあいつらが言っていたゲームか」とクラスで話題になっているゲームをダウンロードした。また、クラスのグループに入りたくてコミュニケーションアプリもダウンロードした。「スマホはゲームもタダでできるし、無料で電話もできる。すごいなあ。」それから毎日、照久くんはスマホをいじっていた。休日、外出するときは必ず手にもって連絡を待っているし、信号で止まればゲームの続きをやりはじめるようになっていた。当然勉強は手につかず、期末テストは点数が5教科で200点近く下がってしまった。

問題点

- ・毎日スマホをいじっているところ

解決策

- ・時間を決めてスマホを使うこと
- ・勉強時間は必ず取ること

2 自分のスマホの使い方と照久くんのスマホの使い方を比べて、考えたことを書こう。

共通点や相違点はどこだろうか。

- ・自分もスマホが楽しくて、ついつい触ってしまうことがある。勉強のときは集中できない。
- ・時間を区切っても友達とラインしていると楽しくて時間を忘れることがある。

3 今日の授業を受けての感想

自分も照久くんと同様に、スマホをいじりすぎていることがあると感じた。

トラブル事例集にあったように自制する力をつけるために、親とも相談したい

道徳科学習指導案

平成●年●月●日

●年●組(男子●名 女子●名 計●名)

指導者 板橋区立赤塚第二中学校

主任教諭 森田 直実

1 主題名

ネットでの発言について考えよう

2 ねらい

インターネットの世界でも相手がいることを理解しよう。

3 教材名

「ネット将棋」(文部科学省読み物資料集より)

インターネットトラブル事例集③「メッセージアプリ内の会話による悪口や仲間外れ」

4 主題設定の理由

インターネットでは特徴である匿名性があるゆえに、何を言ってもやっても大丈夫だという気持ちをもつことがある。どうせばれない、と簡単に考えて、インターネットの向こう側には自分と同じ気持ちをもつ人間がいることを忘れてしまう。これは、インターネットの世界の中に自分しかいないという自己中心的で幼い気持ちがあることから起こるのではないだろうか。本授業を行うことで、インターネットでも現実の世界でも相手を思いやる気持ちを大切にする気持ちを養いたい。

5 本時の展開

	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none">●本時のテーマについて確認を行う◇「インターネットを見て、『炎上する』というのを見たり聞いたりしたことがありますか」◆「ツイッターが結構炎上しているのを知っている」◆「●●が炎上しているのをニュースでやっていた」	<ul style="list-style-type: none">●テーマについて確認し、意識させる。
展開	<ul style="list-style-type: none">●資料を提示し、範読をする●僕と敏和とを比べて、敏和の方が将棋が上達したのはなぜだろう。 (敏和のどのような気持ちがあったから、ネット将棋で上達したのだろうか)◆心から納得したことを言葉にすることで、そのあとの感想戦がすっと入っていくから	<ul style="list-style-type: none">●資料の発問については、個人またはペアで考えさせて、全体で共有をする程度にし、速やかに進行させる。

	<p>◆礼儀がちゃんとしていると、素直になれるから</p> <p>●僕はなぜ勝手にログアウトしたり、負けを認めたりできなかったのだろうか。</p> <p>◆ネットの相手だから</p> <p>◆負けを認めるのが悔しかったから</p> <p>●ネットを介するとどうして対応が悪くなってしまっただろうか。どんなことに気を付ければ気持ちよく過ごせるだろうか。</p>	<p>●グループで話し合わせて、どうしてかということと改善策も話し合わせる。</p>
まとめ	<p>●ネットの相手でも実際に存在している人間と同様に対応をすることが大事である。</p> <p>●インターネットトラブル事例集を見て、その他の例も紹介する。</p>	<p>●インターネットも相手がいることに注意して、使わなければいけないことを強調する。</p>

6 評価の観点

- ・インターネットを使うときには、対面で会って話すときよりも気を遣うことに気付けたか。

7 板書計画

	<p>☆どうしたら気持ちよくネットが使えるだろうか。</p>	<p>ホワイトボード</p>	<p>ホワイトボード</p>	<p>ホワイトボード</p>	<p>☆ネットを介するとどうして対応が悪くなってしまうことがあるのだろうか。</p>	<p>ネットでの発言について考えよう</p>
		<p>ホワイトボード</p>	<p>ホワイトボード</p>	<p>ホワイトボード</p>		
		<p>ホワイトボード</p>	<p>ホワイトボード</p>	<p>ホワイトボード</p>		

3 ネットでの発言に注意しよう

年 組 番
氏名

1 僕と敏和とを比べて、敏和の方が将棋が上達したのはなぜだろう。

2 僕はなぜ勝手にログアウトしたり、負けを認めたりできなかったのだろうか。

3 ネットを介するとどうして対応が悪くなるのだろうか。
どんなことに気を付ければ気持ちよく過ごせるだろうか。

個人で考えたこと



班で考えたこと

3 今日の授業で考えたこと

3 ネットでの発言に注意しよう

年 組 番
氏名

1 僕と敏和とを比べて、敏和の方が将棋が上達したのはなぜだろう。

敏和はネットの相手でも礼儀をもって対応していたけれど、僕は負けそうになるといきなりログアウトして相手に対して気持ちがないから。

2 僕はなぜ勝手にログアウトしたり、負けを認めたりできなかったのだろうか。

ネットの相手だから、傷つかない、失礼にあたらないと思っていると感じた

3 ネットを介するとどうして対応が悪くなってしまふのだろうか。

どんなことに気を付ければ気持ちよく過ごせるだろうか。

個人で考えたこと

ネットでは相手が見えないし、ばれないから対応が雑になってしまう



班で考えたこと

ネットでは相手が見えないし、ばれないから対応が雑になってしまう
たくさんの人が楽しんでもくれる気になってしまうから

→ネットでもいつもと同じ気持ちをもつことが大事

3 今日の授業で考えたこと

ネットでも普段の生活でも友達と話すときは思いやりをもてないといけないと感じた。

今までは・・・

これからは・・・

※今までとこれからが両方書いてあることがふさわしい

事例番号(4) なりすまし投稿による誹謗中傷 (中学校)

作成者 : 八丈町立富士中学校 金丸恵美

1 題材名	なりすまし投稿による誹謗中傷
2 指導のねらい	ネット上では、相手との信頼関係の下、コミュニケーションが成り立つことを意識させる。
3 学習指導要領との関連性	道徳〔第1学年及び第2学年〕B-(8) 友情、信頼 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

4 学習展開			
展開	学習内容・児童の反応	留意点	参考資料
導入	○ネットで告白する／告白されることについて、どう思うか、ワークシートにその理由も書く。	○相手と向き合って気持ちを伝える場合との違いを考えさせる。	
展開	○「ウソ告」の事例を紹介し、「ウソ」だとわかった後の両方の立場の気持ちを想像し、加害者・被害者の立場で、ペアでロールプレイをする。時間を決めて、必ず両方の立場を演じさせる。 事例：『真実か挑戦か』というゲームで「挑戦」を選んだ人がみんなの前でLINEを使って任意の誰かに「ウソ告」をした。 ○ロールプレイ後、どのようなことがわかったか、どのような気持ちになったか、ワークシートに書く。	○相手の発話に対して必ず、「でも」と反論させる。 ○加害者側はゲームの延長線上で、加害者意識が薄かったことに気づかせる。被害者側には、知らないうちに複数に公開されていた状況も考えさせる。	

まとめ	○なりすまし投稿による誹謗中傷の事例を紹介し、三つのケースに対して、今回の授業で学んだことを活かし、どのような行動をとるべきなのか、考える。	○今後のネットとの付き合い方を見直させる。	「インターネットトラブル事例④」 (P.10)
-----	--	-----------------------	----------------------------

名前

1 ネットで告白する／告白されることについて、どう思いますか。その理由も書きましょう。

2 加害者・被害者の立場になって、わかったこと・気づいたことを書きましょう。



加害者の立場になって

被害者の立場になって

(図「ウソ告」が悪質化するフローチャート SNSリアル・ファイル〔2〕より <https://tsunaseka.jp/4105>)

3 次の3つのケースに対して、自分だったらどうするべきか、考えを書きましょう。

A. やるという子がいたら

B. 被害にあった子がいたら

名前

1 ネットで告白する／告白されることについて、どう思いますか。その理由も書きましょう。

- ・面と向かって告白する勇気はないので、ネットの方が気持ちを伝えやすい。
- ・電話や手紙より、周りに気づかれずに、告白を受けることができそう。

2 加害者・被害者の立場になって、わかったこと・気づいたことを書きましょう。



加害者の立場になって

- ・ゲーム感覚で、何も考えず、ついやってしまう軽い気持ち。
- ・周りのみんなにやらされている感が強い。
- ・初めはそうするつもりはなかったが、気づいたら大事になっていた。その時には自分の力だけでは、止められないことがわかった。

被害者の立場になって

- ・相手を信頼していた分、ショックも大きい。
- ・「好きな人」とか、「告白」とか、本当に信頼している身近な人にしか話せない内容を、公開されたら絶対立ち直れない。

(図「ウソ告」が悪質化するフローチャート SNSリアル・ファイル〔2〕より <https://tsunaseka.jp/4105>)

3 次の3つのケースに対して、自分だったらどうするべきか、考えを書きましょう。

A. やるといふ子がいたら

その子の怒りの気持ちを受け止めてあげつつ、やめるように優しく諭す。

B. 被害にあった子がいたら

先生や保護者に相談し、必要に応じて削除依頼をしてもらう。

事例番号(5) 個人や学校などへの脅迫行為 (中学校)

作成者 : 八丈町立富士中学校 金丸恵美

1 題材名	個人や学校などへの脅迫行為
2 指導のねらい	ネットに投稿する場合、相手が不特定多数いるという意識を高める。
3 学習指導要領との関連性	道徳〔第1学年及び第2学年〕C-(12)社会参画、公共の精神 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。

4 学習展開			
展開	学習内容・児童の反応	留意点	参考資料
導入	○アンケート(学校評価や授業評価など)をとる際、記名と無記名とどちらの方が自由に自分の意見が書けるか、確認し、その理由をワークシートに書く。	○匿名だと、個人が特定しにくくなり、発言に責任を負わなくていいことに気づかせる。	
展開	○ネット上での個人や学校などへの脅迫行為の事例を参考に、A加害者B被害者C傍観者の3つの立場で、事件発覚後の心情を考える。 A:悪ふざけで軽い気持ちで投稿しただけで、実行するつもりなど全くなかったのに。 B:知らないうちに個人情報が出ていて驚いた。だれに狙われているのかわからないから怖い。 C:事情はよく知らなかったけれど、おもしろそうだったから、拡散してしまった。 ○紹介した事例では加害者が逮捕されたことを理解し、安易な気持ちで投稿した書き込みでも、犯罪になる可能性があることに気づく。	○個人で考えた意見を3,4人グループで話し合い、全体で共有する。 ○未成年でも匿名でも発信責任があることを理解させる。	「インターネットトラブル事例⑤」(P.11)

まとめ	○2017年6月に神奈川県 <small>の</small> 東名高速道路で起きた、交通事故で、無関係な企業が「容疑者の勤務先」としてネット上で拡散され、営業妨害になった被害の事例において、そのような投稿を見たら、どのようなことをすべきかワークシートに書く。	○今後のネットとの付き合い方を見直させる。	
-----	---	-----------------------	--

名前

1 匿名のアンケートの方が、自由に意見が書きやすいのはなぜだろう？

2 三つの立場になって、それぞれの気持ちを書きましょう。

A 加害者
個人…
班…
全体…

B 被害者
個人…
班…
全体…

C 傍観者
個人…
班…
全体…

3 個人や学校などへの脅迫行為の投稿を見つけたら、今後どうすればいいのだろうか？

今日の道徳を振り返って

資料は良かったか	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
「匿名の投稿」について振り返ることができたか	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
「発信責任」について理解することができましたか。	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
今後の生活に生かそうと思ったか	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない

名前

1 匿名のアンケートの方が、自由に意見が書きやすいのはなぜだろう？

匿名だと、個人が特定しにくくなり、発言に責任を負わなくていいから。

2 三つの立場になって、それぞれの気持ちを書きましょう。

A 加害者

個人…友人Gにイラついていただけ。

班…悪ふざけで軽い気持ちで投稿しただけで、実行するつもりなど全くなかったのに。

全体…

B 被害者

個人…知らないうちに個人情報が流れていて驚いた。

班…だれに狙われているのかわからないから怖い。

全体…

C 傍観者

個人…事情はよく知らなかったけれど、おもしろそう。

班…つい、拡散してしまった。

全体…

3 個人や学校などへの脅迫行為の投稿を見つけたら、今後どうすればいいのだろう？

- ・保護者や先生、警察など、周りの大人に相談する。
- ・掲示板の管理者に通報する。

今日の道徳を振り返って

資料は良かったか	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
「匿名の投稿」について振り返ることができたか	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
「発信責任」について理解することができましたか。	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
今後の生活に生かそうと思ったか	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない

1 題材名 どこから違法? 何が違法?
2 指導のねらい 生徒が何気なく使用している「ダウンロード」について、実際のダウンロードの意味とどのような行為がダウンロードなのかについて学習し、今まで意識せずにダウンロードしていたものを、大丈夫なものか判断できるようにさせたい。また、近年動画投稿サイトなどへの参加が容易になっているが、アップロード前に内容を自ら確認してアップロードするかを判断できるようになってほしい。
3 学習指導要領との関連性 技術・家庭 [技術分野]D 情報に関する技術 (1)情報通信ネットワークと情報モラルについて ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える事

4 学習展開			
展開	学習内容・児童の反応	留意点	参考資料
導入	○今まで自分が海賊サイトを使用したことがあるかを尋ねる。また、なぜ利用していたのかも併せて答えてもらう。 ○「違法ダウンロード」の内容について、どれくらい知っているかを生徒に聞いていく。	○使用したかのみを尋ねる。 ○聞いたら違法と知っていてやったかどうかも聞く。	
展開	○ダウンロードに至るまでの一連の過程を提示して、どこがダウンロードなのか、どこが違法なのかを、班で考えさせる。 ○班で考えた答えを提示してもらい、全体で共有する。そのうえで答えや理由などを提示する。	○場面をなるべく細かく分け、どの行為がダウンロードなのか、どの行為が違法行為になるのかを分かりやすいように分ける。	○授業プリント
導入	○今までデータのアップロードを行ったことがあるか⇒やっていたら、どこにアップロードしたかも答えてもらう。 ・動画投稿サイト ・ファイル共有サイト ・その他	○アップロードしたデータの内容は答えられる範囲で答えてもらう。	
展開	○班で 15 秒ほどの動画を、タブレット端末を使用して撮影させ、その動画を全体に見せて違法となる部分を考えさせる。 ○動画投稿サイトなどの動画の内容の 1 ショットを提示して、どういった事に気をつけて配信しているのかを考えさせる。 ○背景として存在している小物など著作権が絡む物に細かく気を配って、動画を作成していることを確認する。	○何を撮るかは提示せず、キャッチーなものだけを伝えて撮影させる。 ○(自分たちで動画を投稿していた場合)そういった細かい部分は考えていたかを尋ねる。 ○公式な動画とそうでない動画で、使用されている素材の違いについても把握してもらう。	○授業プリント
まとめ	○アップロード・ダウンロードにおいて許される範囲	○自分で違法かどうかを判断できるよ	○事例集⑥

	と許されない範囲をしっかりと把握し、知らなかったでは済まないということと、自分の行動に責任が持てるようにする。	うに、著作権や肖像権を改めて意識するように促す。	
--	---	--------------------------	--

アップロードとダウンロード

2年 組 番 名前 _____

A. ダウンロード

(1) “ダウンロード(DL)” とは何だろうか、自分の考えを下の枠の上の行に書いてみましょう。

--	--

(2) インターネットで非公式なデータを保存するまでの一連の流れについてどの部分が DL なのか、違法になるのかを考えて枠の左側に書いてみましょう。また、班で話し合っただけ考えた答えを枠の右側に書いてみましょう。

	インターネットに接続する	自分の行きたいページを検索する	見たいページに入る	DLするデータを確認する	データを自分のPCに保存する
DL					
違法					
理由					

B. アップロード

(3) 班で iPad を使用して 15 秒ほどの動画を撮ってみましょう、テーマは「キャッチーな動画」のみです。何を撮るかや内容などは特に制限はありません。下の枠は構想のメモを取るのに使用してください。

動画のテーマ	何を撮るか	内容

(4) スライドに映されている画像を見て、どのようなところを意識して気を付けているかを考えて書いてみましょう。

自分の考え	
班員の考え	

C. まとめ

今日の授業で考えたことや学んだことから、アップロード・ダウンロードそれぞれで気を付けるべきことを自

分でまとめましょう。

アップロード	ダウンロード
--------	--------

アップロードとダウンロード

2年 組 番 名前 記載例

A. ダウンロード

(1) “ダウンロード(DL)” とは何だろうか、自分の考えを下の枠の上の行に書いてみましょう。

<p style="color: red; font-size: 1.2em;">自分のスマホやパソコンに映画とか音楽を保存すること, アプリをインストールするこ</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="color: red; font-size: 1.2em;">と, データを取り込むこと</p>
--

(2) インターネット上で非公式なデータを保存するまでの一連の流れについてどの部分が DL なのか、違法になるのかを考えて枠の左側に書いてみましょう。また、班で話し合っただけの答えを枠の右側に書いてみましょう。

	インターネットに接続する	自分の行きたいページを検索する	見たいページに入る	DLするデータを確認する	データを自分のPCに保存する
DL					○
違法			○	○	○
理由	<p style="color: red;">DL : 見るだけならダウンロードではないから, データを入手しているわけではないから</p> <p style="color: red;">違法 : 非公式とわかっていてやっているから, 違法なページに入ったから違法</p>				

B. アップロード

(3) 班で iPad を使用して 15 秒ほどの動画を撮ってみましょう、テーマは「キャッチーな動画」のみです。何を撮るかや内容などは特に制限はありません。下の枠は構想のメモを取るのに使用してください。

動画のテーマ	何を撮るか	内容
	<p style="color: red;">(何を対象に撮っているかを中心に動画の確認をする)</p>	<p style="color: red;">(動画内の自分たち以外の生徒が映っていないかや, 映っていたとしたら許可を取れているか? 著作物などが動画内に入っていないかなどをチェックしていく)</p>

(4) スライドに映されている画像を見て、どのようなところを意識して気を付けているかを考えて書いてみましょう。

<p>自分の考え</p> <p style="color: red;">後ろに移っている物が違う, 片方は後ろの物が統一されている</p>
<p>班員の考え</p>

C. まとめ

今日の授業で考えたことや学んだことから、アップロード・ダウンロードそれぞれで気を付けるべきことを自分でまとめましょう。

<p>アップロード</p> <p>人の顔や著作物などの権利が絡んだりする物はアップロードしないようにする, 許可をしっかりと取らないといけない</p>	<p>ダウンロード</p> <p>どこで違法な物をダウンロードしてしまうかわからないから公式のサイトを使用していく</p>
---	---

事例番号(13) 不正アプリやウイルスによる個人情報漏えい (中学校)

作成者 : 葛飾区立中川中学校 大山 剛史

1 題材名	情報の提供と利用を考える
2 指導のねらい	情報通信ネットワーク上の危険を回避し、情報に関する技術を利用場面に応じて適正に活用する能力と態度を身に付ける。
3 学習指導要領との関連性	技術・家庭（技術分野） D 情報に関する技術 (1) ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えること。

4 学習展開			
展開	学習内容・児童の反応	留意点	参考資料
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報やメールアドレス、趣味を登録すると利用できる無料サービス」の使用経験を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ無料で提供できるのか「利用者」と「提供者」の立場からとらえさせ、疑問を持たせる。 	
ねらい 「情報の提供と利用を考えよう」			
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報を登録すると利用できる無料サービス」の <ul style="list-style-type: none"> ①『利用者のメリット』 ②『提供企業のメリット』 について個人で考える。 ・3～4人組で、指示された①または②の内容について話し合う。 ・異なる課題のグループと半数を入れ替え、①と②について話し合い意見を共有する。 ・占いアプリで趣味趣向を入力し、大量の迷惑メールが届くようになった事例を知る。 ・トラブルにならず、互いのメリットを最大化する方法について話し合う。 ・プライバシーポリシーや利用規約、第三者の評価確認の重要性を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・①、②の課題をグループの半数ずつ与える。 ・トラブルをさけるためには、『約束』や『信用』が必要であると気付かせる。 ・これまで確認してきたか振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑬事例 ⑬考えてみよう ⑬解説

事例 13 ワークシート

まとめ	・個人情報の提供と利用、今後とるべき行動をまとめる。	・適宜発表させて学びを共有し、本時の学習を振り返らせる。	⑬ワンポイントアドバイス
-----	----------------------------	------------------------------	--------------

ねらい

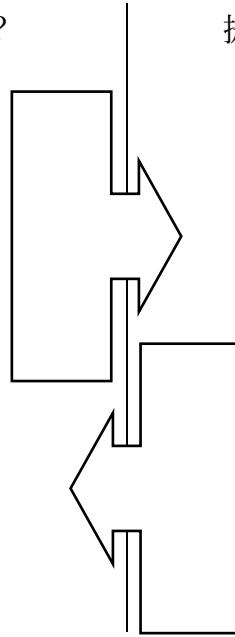
「個人情報の提供と利用を考えよう」

____年 ____組 ____番 氏名 _____

「個人情報やメールアドレス、趣味を登録すると無料で利用できるサービス」があるけど…

利用者のメリットは何だろう？

提供企業のメリットは何だろう？



事例を見て感じたこと 考えたこと。



利用者と提供企業、互いのメリットを最大化するには、どうしたらよいだろう？ 何が必要だろう？

今日、学んだこと。 これから、自分がすべきこと。

ねらい

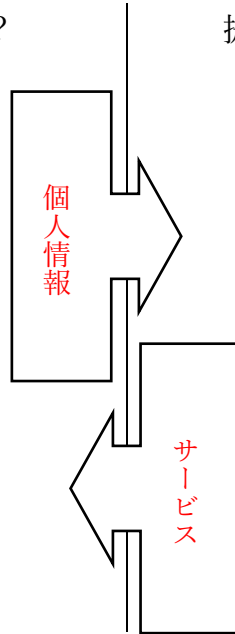
「個人情報の提供と利用を考えよう」

____年 ____組 ____番 氏名 _____

「個人情報やメールアドレス、趣味を登録すると無料で利用できるサービス」があるけど…

利用者のメリットは何だろう？

- 無料でサービスを受けられる。
- 興味のある情報を得られる。



提供企業のメリットは何だろう？

- 個人情報を得られる。
- 入力された情報をもとに有料サービスをおすすめできる。
- 利用者を分析して、新しいサービスを提供できる。

事例を見て感じたこと 考えたこと。

- 趣味でも安易に入力するべきではない。
- 送信した情報がどのように扱われるのか、知っておく必要がある。



利用者と提供企業、互いのメリットを最大化するには、どうしたらよいだろう？ 何が必要だろう？

- 必要最低限の情報に留める。
- 情報を不正に利用しない。

提供企業の信用

利用規約

今日、学んだこと。 これから、自分がすべきこと。

事例番号(16) SNSなどへの投稿内容から個人が特定 (中学校)

作成者 相模原市立田名中学校

佐々木 良輔

1 題材名	SNSなどへの投稿内容から個人が特定
2 指導のねらい	SNSの利用に潜んでいる個人情報の流出の危険性を学ぶことで、トラブルを未然に防ぐ安全な使い方を考える力を養う。
3 学習指導要領との関連性	学活〔第2学年及び第3学年〕 (2) 適応と成長及び健康安全 ウ 社会の一員としての自覚と責任

4 学習展開			
展開	学習内容・児童の反応	留意点	参考資料
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発問を通して、学級のSNS使用状況を確認する。 発問例 「SNSを使用していますか」 「写真や動画などを投稿したことがありますか」 「SNSの投稿で怖い思いをしたことはありますか」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ さまざまなアプリを挙げながら、本時のめあてを確認していく。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈本時のめあて〉 SNSの投稿による危険性を学び、今後の使い方を考えていこう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個人が特定されたトラブル事例を紹介する。 【グループ活動】 班にして話し合う。 ○ SNSに投稿された写真を見て、危険な情報を探してみましょう。 (画面1) (画面2) ※ここで使用する写真素材は、授業者で自由に考えて差し替えてよい。 ○ 班ごとに発表する。 → 気づいた危険な情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真に写り込む日常的なもの、些細なものから、様々な事柄が推測されてしまうことを確認させる。 ○ 軽い気持ちでする投稿の怖さに気づかせる。 	<p>インターネットトラブル事例集(平成30年度版)の事例16</p>

		○発表をしっかりと聴かせる。	
まとめ	○ インターネットトラブル事例集の解説を使って話をしてまとめる。 →ワークシートに感想を書く。	○ SNS の便利さと怖さの両面にふれる。	インターネットトラブル事例集(平成 30 年度版)の事例 16

画像の引用元：<https://shingakunet.com/journal/trend/44619/>

16	SNSなどへの投稿内容から個人が特定	組番	氏名
----	--------------------	----	----

●インターネットトラブル事例



Q. SNS に投稿された次の画面を見てください。この中に映っているもので、個人が特定されてしまう危険な情報は何でしょう？

(画面1)



hell0yui0 #今日から #ランニング

危険だと思う情報	何が特定される？

(画面2)



危険だと思う情報	何が特定される？

●今日の授業を終えて、SNSの使い方について考えたことを書きましょう●

16	SNSなどへの投稿内容から個人が特定	組番	氏名
----	--------------------	----	----

●インターネットトラブル事例



Q. SNS に投稿された次の画面を見てください。この中に映っているもので、個人が特定されてしまう危険な情報は何でしょう？

(画面1)



hell0yui0 #今日から
#ランニング

危険だと思う情報	何が特定される？
靴	足のサイズがわかってしまう
マンホール	模様で地域が分かる
写真	位置情報が読まれて住所がわかる。
ランニング	走るのは自宅近くだと思う。

(画面2)



危険だと思う情報	何が特定される？
青梅街道	道の名前が出ている
ゲリラ豪雨	狭い範囲にしか降らないから住所が特定される
下のコメント	格好が分かってしまう

●今日の授業を終えて、SNSの使い方について考えたことを書きましょう●

写真や動画を投稿するときには、映っているものに注意する。


誰でも見られる環境にしない。公開範囲を限定する。


こんなに小さなところから個人情報がわかってしまうなんて怖いと思った。

事例番号(17) SNS やネットでも知り合った人による性犯罪被害(中学校)

作成者 : 茗台中学校 石出勉

1 題材名	SNS やネットでも知り合った人による性犯罪被害
2 指導のねらい	ネット利用における危険性を知り、使い方を考え、自分の行動に責任をもつ。
3 学習指導要領との関連性	<p>特別の教科道徳 A 主として自分自身に関すること</p> <p>1 自主、自立、自由と責任</p> <p>自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。</p>

4 学習展開			
展開	学習内容 ・ 生徒の反応	留意点	参考資料
導入	<p>スマートフォンを使ったことがあるか？</p> <p>SNS のアカウントをもっているか？</p> <p>SNS を利用するときには注意することは何か？</p> <p>家庭で SNS 利用ルールはあるか？</p> <p>それはどんなルールか？</p>	<p>生徒の実態を知るために、テンポ良く把握する</p>	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>友達が SNS で知り合った子からライブに誘われています。あなたならどうする？</p> </div> <p>あなたの友達の T さんが</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行きたかったライブに誘われた ・すごく気が合う子 ・SNS でみんなに好かれている <p>メリット、リスクを考える。</p>	<p>グループ活動</p> <p>ライブの誘いに乗ることのメリットとリスクについてできる限り多く挙げてみる</p>	 <p>今度のライブ、よかったら一緒に行かない？</p> <p>この子、すごく気が合う。SNS でみんなに好かれてるし、ヤッター！嬉しい！</p> <p>Tさんは、同じアイドルのファンの女の子とSNSでよく話をしていました。ある日、ライブのチケットが自分にあるから一緒に行こう！」と誘われました。</p>

<p>まとめ</p>	<p>この事例では T さんに実害はなかったが ... 行方不明や殺害の事例を知る 自分なら SNS とどうつきあっていくかを 考える</p>		<p>実際に会うと見知らぬ人だった</p>  <p>平日の日、持ち合わせ場所に行ってみると、SNSの噂と噂のたぐひ通り男の人で、子かしの話から、無視や回避に頼むべきではなかった。</p> <p>○新聞記事</p>
------------	---	--	---

中学校 年 組 番 氏名

1 SNS 利用の際の注意点

2 ライブの誘い どうする？

【ライブに行くメリット】

【ライブに行くリスク】

3 事例の場合の顛末をみての感想

中学校 年 組 番 氏名

1 SNS 利用の際の注意点

- ・使う時間を制限する
- ・リアルな友達以外に DM しない SNS に書き込みをしない
- ・発信先の範囲を確認して書き込みする

2 ライブの誘い どうする？

【ライブに行くメリット】

- ・友達が増える
- ・好きなライブに参加できる

【ライブに行くリスク】

- ・本当に心を許せるかわからない
- ・SNS の「友達」の正体がわからない

3 事例の場合の顛末をみての感想

- ・SNS では人物像に嘘がいっぱい
- ・話の内容が信頼できるとは限らない
- ・背後の悪い組織の可能性について
 - リスクを破って(身の危険を曝して)ライブに行く価値はあるか
- ・自分の行動に責任をもつこと